

古代においては、都城とそこに基盤を置く天皇権力の安寧・永続を願うため、さまざまな宗教や呪術に基づく設計思想や儀礼空間を認めることができる。

例えば平城京を例にあげると、大安寺・薬師寺をはじめ多くの寺院が置かれ、鎮護国家の仏教が展開した。その一方では、神社は基本的に京内になかったが、大祓えや道饗祭などの道教的祭祀が盛んに行われ、都城の清浄化が意識された。また大極殿は、北極星を中心とする天帝の居所と直結すると考えられたように、京と天との関わりも忘れられないが、中国のような天を祭る場としての円丘は造られず、郊祀は行われなかった。さらに遷都の詔中の「四神図に叶い、三山鎮めをなす」という文言などから、風水思想との関わりも指摘されている。これらのさまざまな信仰形態が、都市・都城には重層していたのである。

こうした状況を踏まえ、今回の都城制研究集会では、中国や平泉も視野に入れながら、古代都城という場をめぐる信仰形態を総体的に検討し、それぞれの性格や、その成立と変遷、重層した諸信仰形態の全体構造などの問題を論じることとしたい。

**日時：2012年2月5日（日）10:00～17:30**

**会場：奈良女子大学文学系N棟 202 講義室**

## 都城制研究集会

# 古代都城をめぐる信仰形態

10:00～11:40

舘野和己（奈良女子大学）

古代都城をめぐる信仰の諸形態

古市 晃（神戸大学）

古代宮都と仏教信仰

榎村寛之（斎宮歴史博物館）

古代都城と神祇祭祀

13:00～15:40

西本昌弘（関西大学）

古代都城と神・仏・天の祀り

積山 洋（大阪歴史博物館）

難波京をめぐる宗教環境

前川佳代（奈良女子大学）

平泉の宗教施設と風水思想

村元健一（大阪市博物館協会）

中国 北朝都城の祭祀空間

16:00～17:30

討 論

コメント 鈴木明子（奈良女子大学） 古代都城と神の祭り

司 会 出田和久（奈良女子大学）・宍戸香美（奈良女子大学大学院）

主 催：奈良女子大学古代学学術研究センター

共 催：都城制研究会（「大阪上町台地の総合的研究－東アジア史における

都市の誕生・成長・再生の一類型－」研究代表：脇田修）

科研費「古代都城・都市をめぐる環境論」（研究代表：舘野和己）研究グループ

参加費は無料・申込みは不要です。詳しくは奈良女子大学ホームページをご覧ください。

連絡先：奈良女子大学古代学学術研究センター 舘野 和己（0742-20-3307）